

公表 事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス)

○事業所名	すみだステップハウスおおぞらにじの子		
○保護者評価実施期間	R7年 9月1日	～	R7年 11月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 36人	(回答者数)	19人
○従業者評価実施期間	R7年 10月1日	～	R7年 10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 12人	(回答者数)	12人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月13日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・小学1年生から3年生までの学齢児を対象として年数回ではあるが、個別療育の提供をしている。	・保護者の方の困りごとと一緒に整理して施設としてできる事や情報の提供をしている。 ・希望に合わせて保護者のみの相談も受けている。	・新人も含めて学齢児向けの研修に参加し、個々のお子さんの状況に合わせた支援をさらに充実させる。 ・他機関の情報も可能な範囲で提供する。
2	・専門職の心理士・ST・OT・看護師が在職しているため、お子さんの発達段階や特性に合わせた療育の提供ができる。 ・当施設の児童発達支援を利用していたお子さんが多いため、長いスパンで発達の支援ができる。	・必要に応じて専門評価を行い、多職種間で連携し支援している。	・当施設内だけでは十分な支援を行うことが難しい場合には、他機関の情報提供を行っていく。
3	・児童精神科・小児神経・小児整形などの医療相談や摂食相談が毎月定期的に提供ができ、保護者の方のニーズに合わせて相談や発達状況を確認して医学的な助言を受けることができる。	・医療相談を行うことで保護者にお子さんの発達状況を伝え、お子さんの理解を促している。また、学校側に支援の必要性を説明する際に伝える内容を保護者にわかりやすく伝えている。	・医療機関受診の必要性などの状況を把握して、必要な場合には情報提供を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・予約枠に偏りが生じてしまう。	・学校があるため土曜日または平日の16時以降に予約が集中しやすいため調整が難しい。	・予約前に協力を求め説明する。 ・みつばち園の相談支援事業所の相談員と連携し、必要に応じて他機関の情報提供を行う。
2	・個別療育なので、担当職員と保護者との関係性は密だが、職員同士での情報共有をしにくい。 ・保護者面談時、お子さんの状況に合わせて分離が好ましい場合、対応する人員やスペースが限られている為難しい場合もある。	・担当以外の職員と相談及び情報共有する機会が少ない。 ・職員、スペースが限られている。	・必要に応じて多職種の評価を入れていく。 ・可能な範囲で他の職員が分離対応の検討する、廊下で待てる工夫を検討する、対面で伝えにくい場合は電話対応をするなど柔軟に対応していく。
3	・学齢児の保護者交流会や保護者向けの勉強会などの情報が少ない。	・交流会や勉強会については、乳幼児の保護者向けの企画がメインとなっている。区内の学齢児向けの他機関の情報は可能な範囲で掲示している。	・今後も学齢に関わる情報提供を必要に応じて行っていく。 ・今後は職員が研修等でさらに研鑽を積み、学齢児の相談により適切に対応できるように努める。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		すみだステップハウスおおぞらにじの子(放デイ)		公表日		令和8年 月 日			
				配布数		36通		回収数 19通	
チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	利用なし	ご意見		ご意見をふまえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1		3	1		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	1		4	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1		2	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16			2	1		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14□	2		3			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	1		3	2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	2		4			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8□	2		7	2		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12			4	3		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1		5	3		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5			5	9		

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1		2			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12			4	3		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が行われていますか。	7			7	5		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13	1	1	4			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1	2	4			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1		2			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3			6	10		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	4	1	3	1	WISC検査を受けたいとみつばち園に相談したところ、にじの子をご紹介いただき、大変お世話になりました。本番の検査を受けるまで半年かかりましたが、検査の実施やフィードバックは大変丁寧で本人のことをよく見ていただけました。感謝しております。	お子さんの状況、必要性を検討した上で発達検査を実施することがあります。職員にご相談ください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	2		2			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5	3		9	2		
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	1		4				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1	1	9	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	1		14	2		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1		6	2		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4			10	5		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16	1		2			
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	13	3	1	2			
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	3	1	1		利用回数や利用できる年齢に制限があるため、今後利用できなくなるとても残念です。	にじの子は小学校1年生から3年生までとなっております。可能な範囲で他施設の情報等お伝えいたしますので、職員にご相談ください。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	すみだステップハウスおおぞらにじの子			公表日	令和7年 12月 18日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	2		利用希望が夕方や土曜日に予約が集中するため、職員、部屋ともに不足している。また、学齢児は頻度や相談内容の影響で、時間を延長することも少なくない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10	0	毎年目標の設定と、年数回の上司との面談を行なっている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10	0		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1		*個別に担当制のため、1人で行っている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10	0		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	4		* 個別療育のみ実施している。 * 放課後等デイサービスは個別療育のみ実施しているため、チームでは行っていない。 * 担当者制による個別指導のみ。 * 個別に担当制のため、1人で行っている。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	4		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	3		* 集団療育は実施していない。 * 個別療育のみ。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	2		* 個別療育のみ実施している。 * 個別療育のみ。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	1		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	2		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	4		* 就学3年までの利用のため。 * 利用が小学3年生までのため。 * 小学3年生まで利用可能な施設であるため。 * 利用は小学3年まで。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	5		* 直接はほぼないが、保護者を通して行うことがある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	1		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2			

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	6		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	2		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	0	おおぞらまつりという地域交流行事を開催している。 おおぞらまつりの開催。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	4		*食事提供をしていない。 *食事の提供がない。 *食事提供なし。 *食事は提供していない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	0			